

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(139業者が加盟)による
市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です

リターナブルびんは
循環型の容器です

地域に広がる 環境教育を目指して

小学生による給食残飯の堆肥化
古着・古布回収を支える
中学生ボランティア



環境教育の題材は、生活の中にあふれています。でもそれを学校で子どもたちと一緒に形にしていけるのは、それほど容易なことではありません。そんな中で、今回はあきらめずに取り組み続けたから実現した、2つの生きた環境教育の実例をご紹介します。

「給食で出た食べ残しを堆肥にしたい」多くの学校でそう考えているに違いありません。でも、「それには大型の生ごみ処理機が必要だけれど、うちの学校にはないから無理だな」とあきらめてしまっているいませんか？

横浜市保土ヶ谷区の桜台小学校には、生ごみ処理機がありませんでした。学校側では横浜市の環境事業局が小学校に設置を進めている大型の生ごみ処理機の導入を希望していました。希望校が多く、設置は年間3〜8校のペースということなので、気長に待つ体勢に入っていました。

最初に声をあげたのは、子どもたちでした。それまでに、市の回収が始まっていなかったペットボトルを集めて自分たちで処理施設に運ぶことから始めて、給食の牛乳パックや古紙のリサイクルに取り組んできていましたが、

「給食の食べ残しを堆肥にしたい。できた堆肥でケナフを栽培して、紙すきをしてみたい」と言い出して、自分たちでその方法を探し始めたのです。

▼生ごみを堆肥にしたい！
神奈川にあるエコライフかながわに、桜台小学校5年生の生徒から電話があったのは昨年11月のことでした。エコライフかながわでは、月に一度『生ごみリサイクル研究会』を開くなど生ごみの堆肥化に熱心に取り組んでいる芹澤孝之さんを紹介し、芹澤さんは早速学校に出かけることになりました。

「初めて桜台小学校に行った日、4年生1クラスと5年生1クラスの合わせて80人の子どもが体育館で待っていてくれました。生ごみ堆肥化について1時間あまり話をし、その日のうちに実習したので、子どもたちは積極的に、残飯と土を手で混ぜる作業もいやがらなかったのには驚きましたね」

翌日のお昼休みから、桜台小学校の体育館裏にバケツやスコップを持った子どもたちがやってくるようになりました。4月になり学年が変わっても、当番制で自分のクラス

の残飯の堆肥化作業を続けています。

6年生の担任をしている小山先生によると、「去年は、私か4年生(当時)の担任をしていた宮本先生が毎日作業を見ていたんですが、今では給食が終わると、放っておいても残飯を入れたバケツを持って、『行ってきま〜す』と教室を出ていきます。後で見るときちんとできています。毎日やっていたので身についたんでしょね」

貴重な休み時間を割いての作業ですが、子どもたちが本当にやりたいと思ったことだから、半年経った今でも無理なく続いているのでしょう。

▼自然に委ねる生ごみ処理法
半年間続いているもうひとつの理由として、芹澤さんの生ごみ堆肥化の方法がシンブルで簡単ということがあげられると思います。

必要な道具は、生ごみを入れるバケツとスコップ、それにビニールシートだけ。堆肥化する方法の基本は、土と混ぜて埋めること。コンポスト容器は必要ありません。土に掘った穴が自然のコンポスト容器となり、土の中にいる微生物が生ごみを分解してくれるのです。

給食が終わったら、残飯を

バケツに集めて校庭に運び、水分を切ります。埋める場所のそばにビニールシートを置き、その上で生ごみを広げて土をかぶせます。これは、粒子が細かいものを上にすると混ざりやすいため。米ぬかを使う場合は、生ごみと土の間に入れましょう。それから全体を混ぜていきます。混ぜる道具は何を使ってもかまいませんが、水分の状態を見る時は手で直接さわるとよくわかります。握ってみて水分を感じる程度が目安。握った手を開いたらポロポロとくずれてしまうときは、水分不足です。水分が多いときは乾いた土を加えて調整します。

「これまで農業の現場では、塩分を目の敵にしています。私もできるだけ塩分を減らそうと考え、生ごみを水洗いしてから土と混ぜるよう指導していたのですが、最近になって塩分が必ずしも害を及ぼすわけではなく、適度であればかえって野菜の味を向上させる力を持っていることなどがわかってきました。水洗いすると生ごみの水分含有量が多くなってしまうことも気になっていたので、今後は水洗いしない方向で伝えていくつもりです」

土と生ごみを混ぜたら、掘

っておいた幅40センチ程度の溝の端に寄せて高く積みます。穴ではなく溝を掘ったのは、量の多少に対応するため。昨日入れた生ごみの上に今日の生ごみ、というように上に乗せていくと、古いものと新しいものの区別がつかなくなってしまうですが、溝状にして1日分を高く積み、翌日の分は横に入れるようにすれば、量が多くても少なくても順に入れることになって、どれが古いものかすぐにわかります。溝に入れたら隠れる程度の土を乗せ、シートをかけて作業終了。シートには雨よけや乾燥防止、そして猫から守るといった役割があります。何日かしてシートをとってみてカビがはえていれば、順調に堆肥化に向かっていくと判断していいそうです。

冬でも1か月経てば、元の形がなくなり堆肥になります。途中で切り返し(上下を混ぜる作業)ができればなおいいのですが、しなくても問題はありません。できた堆肥は、畑や花壇などの土の全面に広げて攪拌してから、種を蒔き苗を植えます。

芹澤さんの方法は手間がかからないし、においは土が吸収・分解するのでほとんど出



ません。コンポスト用の容器を使わずに土に埋めるため、余分な水分は周囲の土が調整してくれます。

「生ごみ堆肥化の基本は、微生物が住みやすい環境を作ってあげることですね。微生物が働くためには50〜60%の水分が必要ですが、それ以上水分があると、酪酸菌や酢酸菌ができて、においの発生源になってしまいます。酪酸菌はとりわけにおいが強いのですが、水分が多いとすぐに活動をはじめるので要注意。家庭ではまず日に当てて水分を減らしてから堆肥化すると、においを防ぐことができます」

3月、子どもたちはできあがった堆肥を使ってじゃがいもを植え、5月には念願のケナフを栽培を始めました。ケ

ナフは肥料の吸収力が強いので土地を荒らすこともあるそうですが、堆肥をたっぷり入れたので、順調に育っています。

▼生ごみ処理機は魔法の箱？
土に直接埋める方法で堆肥化に熱心に取り組んでいた子どもたちでしたが、一方で「電気式の生ごみ処理機での堆肥化にも挑戦してみたい」という思いが残っていました。「たぶん魔法の箱のように感じられたのでしょうか」と小山先生。どんなものか実際に試して見るために、バザーで資金を集めて買うことにしました。

チラシ作りや値段つけ、品物の分類など、すべて自分たちの手で準備をして、迎えたバザー当日の日曜日。開始前

桜台小学校の生ごみ博士 芹澤孝之さん

「毎日が日曜日になってから何をしようかと思って環境問題について勉強を始め、その結果、これなら自分にもできると思ったのが、生ごみの堆肥化でした。農業試験場で堆肥に関わる仕事をしたり、牧場作りをしたときには家畜の糞尿処理にも携わってきたので、生ごみの堆肥化は自分にとってなじみやすいものだったんですね」

生ごみ堆肥化は、芹澤さんのこれまでの経験と知識の積み重ねがあったからこそ選択でした。それでも具体的な知識が不足していたので、図書館に通ってひたすら本を読んで勉強したそうです。

「給食の残りを見て驚いたのは、牛乳を残す子ども意外に多いことでした。それまで残った牛乳は下水に捨てていたのですが、今では少し薄めて水のかわりに花壇にかけたり、窒素分が多く微生物が好むので、必要に応じて水分補給のために堆肥に混ぜて使うなどして、下水には入れないということを実行していただいています。」

桜台小学校では以前から学校内のごみ減量やリサイクルに熱心に取り組んでいるので、生ごみを全量処理できるようになれば、学校内でほぼ循環するようになるでしょう。小山先生のクラスは、『生ごみの堆肥化を学校全体に広めていこう』ということでは、クラス全員が一致しています。今後どのように進めていくのかが課題ですが、それについて話し合いをしたとき、『他のクラスに行って教えてもいい』と手をあげた子どもが10人以上いたのを見て、私は、『弟子がこんなにできた』と、うれしかったですね」

写真は、学校林の中にある堆肥枠の様子を見る芹澤さん。この枠は堆肥を作るために作ったものではなく、以前からあったもの。ごみ捨て場だったようで、子どもたちが缶やびんを取り除き、地面より30センチ程度下まで掘り下げ、土に荒いふるいをかけて堆肥枠にした。堆肥枠の中には土+残飯+落ち葉を入れ、牛乳で水分調整をしている。切り返しは一度行ったが、1か月で元の形がなくなった。堆肥枠の中をのぞいてみたら、ミミズがいっぱいだった。



から並んだ人もいたほどのにぎわいで、2時間で完売、12万円もの売り上げがありました。パンフレットを集めて検討して、家庭用の生ごみ処理機を購入しました。

最初は教室の中に置いたのですが、生徒によると、「クラス中くさくなって、前のろうかを通る人にもくさいって言われた」。話し合いの結果、移動式のコンポスト小屋を作った。そちらに移すことに。しかしその後もおいは続き、やっと手に入れた生ごみ処理機でしたが、今はお休み中とのこと。残念ながら魔法の箱ではなかったようです。

▼学校から地域へ子どもたちはいま、これまでの経験を学校の生ごみ堆肥化にどう生かしていくか、検討しています。小山先生のクラスにはリサイクルを考える5つのグループがあります。アルミ缶のリサイクルをどうしていくか考えるグループ、地域清掃をどう広めるか考えるグループ、そして堆肥化運

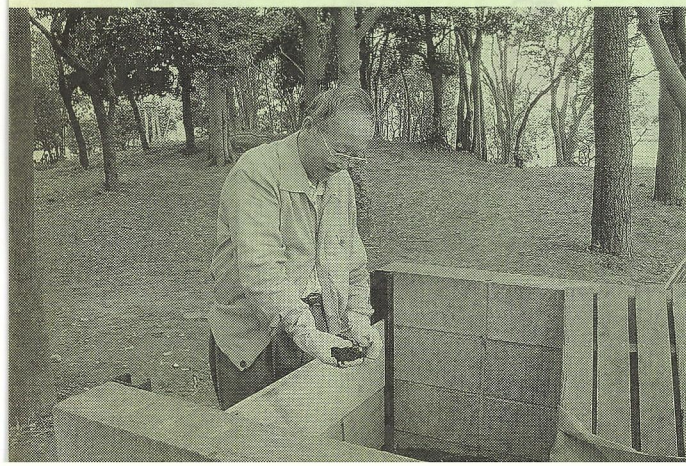
動を広めていこうというグループ、そのグループが、ポスターなどの広報によって広めるグループ、口頭で体験的に広めるグループ、朝会や集会の場を利用して広めるグループの3つに分かれています。「どうやって進めていくかについては相談中ですが、『学校全体に広めていこう』という気持ちだけは共通しています。体験的に、というグループは、まず4〜6年に広めて指導者をいっぱい作ってから1〜3年生に広めていこうというところまで話を進めています。このクラスは37人しかいないので、そこから全校へというのはなかなか難しいものですが、今動き出しているのは、劇を作って発信しようという案のようです」

こうした子どもたちの取り組みを、校長の郡正文先生はどう見ているのでしょうか。「20世紀は文化が発達したかもしれないですが、環境はかなり悪化しました。そういうことを繰り返さないために、子どもたちに環境についていろいろと考え行動してもらうことが、教育の大切な柱だと思っています。」



▲コンポスト小屋の前で

芹澤さんが進めてくださっている『土を使つての堆肥化』は実験段階にありますが、できれば全校で給食の残飯の堆肥化に取り組んでいきたいです。さらにそれを家庭にも広げていって、地域全体で取り組めたらと思っています。子どもたちからの発信で学校や地域が変わることこそ、生きた教育だと思いますし、そこまでできたらという思いと、可能じゃないかという手応えを感じています。今年度の終わりまでに、全校でできるようになるかどうかというところでしようか。それも教師主導ではなく、子どもが主体になってやらないと意味がないですから、見守っていきたいですね」



「いろんな人たちが持ってきた古着が 東南アジアや世界に送られていくことは すごいと思いました」

環境教育の場合は学校だけではありません。地域の人たちや日常生活の中で接点のなかった人たちとのふれあいや、ボランティアとして働くことを通して、期待していた以上に多くのことを学ぶ子どもたちもいます。

5月12日、快晴の空の下、横浜市磯子区内のすべての小学校17校で、磯子区減量化・リサイクル推進協議会と磯子区役所主催による区内一斉ファイバーリサイクルが行われました。毎年5月と11月の第2土曜日に行われるこの回収は、おとなのボランティアだけでなく中学生ボランティアが参加していることが、他のファイバーリサイクルと大きくちがうところです。今回うかがった山王台小学校では、7名の市民ボランティアと汐見台中学からやってきた13名の中学生ボランティアが回収を手伝っていました。

ボランティアには事前に説明会を行い、なぜファイバーリサイクルをするのかについて伝えます。また近所の方には、1か月前からチラシや掲示板で、ファイバーリサイクルを行うことを徹底的に知らせます。

古着を持った人が現れる

と、子どもたちが元気に走って受け取りに行き、「おはようございます」「ありがとうございます」「次回もよろしくお願いします」と、気持ちのいい挨拶で迎えたり、荷物を運んだりしていたのが印象的でした。そして、トラックが集まったものを引き取りに来ると、楽しそうに投げ入れていました。持ってきた方にうかがってみると、「毎回利用しています」「とても助かっています」「子どもたちが運んでくれるのがいいですね」といった感想が聞かれました。

この回収は、行政・ボランティアスタッフ・業者という三者の協力によって成り立っています。立ち上げはかなり大変だったようですが、回を重ね今回で10回目になりました。次回は11月の第2土曜日10日に行う予定です。

(取材／竹澤)



区内一斉ファイバーリサイクルの立ち上げ段階から関わっている、減量化・リサイクル推進協議会の忠内須美子さんにお話をうかがいました。

「この回収は、学校を拠点にして生徒や地域の人たちにもかかわっていただいて実施しているの、子どもたちにとつての環境教育の場となるだけでなく、地域のコミュニケーション作りも大切にした形の回収になっています。」

こういう形の回収をしたいと思いついて、10年がかりで実現しました。ただ古着や古布を集めればよいというのではなく、事前に説明会を開いて、夏物は東南アジアなどに輸出していること、いま冬物は回収量が多すぎてうまくリサイクルしきれないことなどを説明したうえで、ボランティアとして参加していただい

今年の夏も 環境絵日記



今年も環境絵日記を募集します。今年のテーマは、

「発表！わが家のリサイクル」「わたし街の資源集回収」「10年後のリサイクル都市よこはま」の3つ。優秀作品は、秋に開催する予定の「リサイクルデザインフォーラム」の会場で発表します。

●テーマ

1「発表！わが家のリサイクル」：今、わが家を取り組んでいるリサイクルや、これから取り組もうとしているリサイクルを描く

2「わたし街の資源集回収」：自分の住んでいる街で集団回収に参加したときのこと、そのとき気づいたことを描く

●応募方法／用紙の表と裏の記入事項を書き入れ、封筒に入れてリサイクルデザインにお送りください。事務所に直接ご持参いただいてもかまいません。

3「10年後のリサイクル都市よこはま」：10年後、自分がおとなになったとき、横浜はどんなリサイクル都市になればいいか想像して描く



しています。
現在は磯子区だけですが、全市に広げていければと思っていますんですよ」

当日参加した中学生ボランティアの声です。

■ファイバーリサイクルには、何度か参加したことがあるんですけど、いっぱい人が集まって、すごく大変でした。でもすごく楽しかったです。

■「家まで来てほしい」と言われて行きました（少し遠かったけど）。でも喜んでくれたので良かったです。またこのような機会があったらやりたいです。

■初めてで、どうやるのかもわからなかったけど、いろんな人たちが古着を持ってきていて、これが東南アジアとか

世界に送られていくということとはすごいと思いました。

■やりがいがあったとても楽しかったです。人との交流も深まるし、また機会があったら参加してみたいと思います。

■こんなに楽しいなんて思わなかった。バスケットボールがあった。

■ボランティアはともやりの感じがあります。また機会があったら、やりたいです（というか、やります）。

■今年初めてボランティアをやってみて、とてもおもしろいと思いました。最初はめんどくさそうだなと思っていたんだけど、やってみるといろんな人がいろんな物を持ってきてくれて、とても楽しかったです。次もこういうことがあったらやってみたいと思いました。

■私たちは今回ファイバーリサイクルに参加して、びっくりしたことがたくさんありました。まず古着・古布を持ってきたくださった方々が、思っていた以上に多かったことです。中には遠いところから車でもってきてくださった方もいて、リサイクルへの関心が高いことがわかりました。次に回収された古着・古布の用途についてです。使い道

の種類は大きく分けて3つあるそうで、①東南アジアなどの国々へ輸出 ②ウェス（工業用ぞうきん）③反毛（せんい原料）に分けて利用されるそうです。東南アジアでは夏物衣類などが喜ばれます。

これから私たちは、リサイクルにもっと関心を持ち、リサイクルを実行していくとともに、再利用商品を利用していくことが大切だと思います。みなさんも機会があったらぜひ参加してみてください。最後に親切にしてください。地域のみなさん、どうもありがとうございました。



●用紙／環境絵日記の応募用紙は、お手数をおかけして申し訳ないですが、リサイクルデザイン事務所に

ご請求ください。また、横浜市神奈川区のエコライフかながわにも置いてあります。学校や子ども会など団体で応募いただく場合は、必要な応募用紙の枚数をリサイクルデザインまでご請求いただければお送りします。

●用紙／環境絵日記の応募用紙は、お手数をおかけして申し訳ないですが、リサイクルデザイン事務所に

ご請求ください。また、横浜市神奈川区のエコライフかながわにも置いてあります。学校や子ども会など団体で応募いただく場合は、必要な応募用紙の枚数をリサイクルデザインまでご請求いただければお送りします。

●画材／どんな画材でもかまいません。

●応募締切／9月10日（月）当日消印有効

●審査結果の発表／秋に開催予定の「リサイクルデザインフォーラム」にて発表。

●学校やクラス、子ども会単位での応募も大歓迎です。授業の中で取り組んでいたければ、これほどうれしいことはありません。

●応募は1人1点。ご応募いただいた作品は返却できませんのであらかじめご了承ください。また、応募作品の著作権・使用权は、横浜市資源リサイクル事業協同組合に帰属します。

環境絵日記へのお問い合わせ 送り先は：

〒220-0005

横浜市西区南幸2-16-22 金属ビル3階
リサイクルデザイン「環境絵日記」係

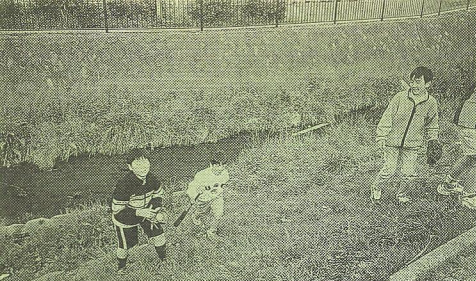
TEL 045・316・4050

FAX 045・316・6050

電話受付／月～金 9時～17時

ホームページ

<http://www.recycle-design.or.jp>



校庭に沿って流れる舞岡川
めだかが泳ぐ

市立舞岡小学校は、戸塚区の舞岡ふるさと村の中にある。都市部と違って自然に恵まれた環境で、どのような教育が展開されているのかと訪ねてみた。

舞岡ふるさと村と隣接する、山に挟まれた細長い谷戸の奥の部分28・5ヘクタールはそっくり市立舞岡公園として保全されている。学校を訪ねる前に、公園へまず行ってみた。市民団体が雑木林や田畑からなるこの地を残したいと稲作りを始めたのが、現在の公園を作るきっかけと聞く。新緑の季節でもあったが、こんなにきれいで懐かしい里山の風景が、市内でまだ見られることに驚いた。様々な手法で作られた柵は、いずれも竹や柴、丸太などの木材で、プラスチックやコンクリート材が視野にないのだ。電柱も木材だった。一帯は小谷戸の里と呼ばれ、年間通じて稲作りや炭焼き、梅干し漬けなどの体験講座が開かれている。地下鉄舞岡駅から谷戸の奥までゆっくり歩いて片道30〜40分のところを往復し、小川に沿って舞岡小学校へ。

どうする？ どうなる？ 環境教育15



ふるさと村の中の学校

田んぼを示す坂井先生



環境という考えなのだ。「教科の枠にとらわれず、関連を大切にしたい。国語で収まりきらない、言葉で表せないものが絵や音楽になるように」とも。

舞岡小学校の子どもたちは、地域ぐるみというふんわり大きなまゆの中で大切に育てられているみたいだ。写真を見せてもらおうと、小さな1年生の手を引く6年生はとも大きく頼もしく見える。年長者の役割を意識して行動するうち、おのずと成長していくのだろう。

5年生は稲作りを学習する。今年も農家に出向いて、種籾を播くところから見学させてもらった。田植え・鋤取りをし、稲刈り・脱穀・籾取りと一連の作業を農家の協力を得ながら進める。できたお米は、自分たちで農協へ行き精米機を使って糠が出ることを知る。食べ方も調べる。前年は、児童が祖母に聞いて蔵にしまい放しだった臼と杵を出してもらい、餅つきをした。おはぎやお強にもした。こうして5年生は稲作りの全行程と作業を1年間じっくり体験する。そろそろ田植えの季節。お天気に恵まれ、稲がよい実を結びますよう。

「この学校は自然に恵まれているだけでなく、地域の方々がとても協力的です。自分たちの学校という気持ちがあり、子どもを見る目が温かいですね」と校長の工藤省三先生は話す。学校のそばを流れる舞岡川で、子どもたちは遊び、観察をする。川べりや水の中の清掃をする時、いくつもの団体が参加したりわらや竹の細工を教えたりと、地域の人々が子どもたちに接する機会はとて多い。

4月末、恒例の全校遠足は毎年舞岡公園。今年は約1時間歩く途中に、5つのポイントを設けて先生たちが問題を

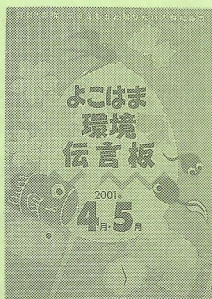
*1 餅米を蒸したものを「強飯」
*2 横浜市環境保全局のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/cplan/epb/index.html>

環境教育 の サ ポ ー タ ー

『よこはま環境伝言板』は、横浜市環境保全局が2か月に1回発行する情報紙。市内各地で行われる自然や環境をテーマにした案内を載せていて、舞岡公園の催しもよく登場する。森のボランティア、ヤゴさがしなど毎月情報がいっぱい。よこはま環境伝言板の入手先は、区役所・地区センター・図書館ほか、市の施設で。

●問い合わせ先

横浜市環境保全局事業推進課
TEL 045・671・2484
FAX 045・224・6627



よこはま環境伝言板



『よこはま白書』は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

網島商店街で

エコタウン宣言

「エコタウンへの取り組みは、循環型社会を作っていくうえで大切なことです。エコタウン宣言はすばらしいことですが、商店街を利用するみなさんにもご協力いただかないと実現しません。ご協力をよろしくお願いします」という横浜市の高秀市長のエールを受け、6月2日、網島商店街連合会の猿渡会長はエコタウン宣言を行いました。

網島商店街連合会は、横浜市ごみ減量アクションプログラムの一環として、協同組合伊勢佐木町商店街とともにエコ商店街活動に力を注いでいます。エコタウン宣言はその取り組みを地元だけでなく広く知っていただくためのもの。当日は宣言に合わせて、商店街をあげてのイベント『エコタウンつなしまフェスタ』を開催しました。

『エコタウンつなしまフェスタ』は、子どもたちが参加して商店街近くを流れる鶴見川の掃除をするクリーン大作戦でスタート、商店街でのエコタウン宣言に続き、エコスタンプとエコクイズの2つのラリー、環境事業局の空き缶回収車パッケン号によるスチール缶とアルミ缶の分別・圧縮のデモンストレーション、フ

リーマーケット、ガイアコンサートと盛りだくさんのイベントに、商店街は夕方までにぎわっていました。なかでもエコスタンプラリーは、1地点を通過するごとに、じゃがいも・玉ねぎ・にんじん・カレールーといった、カレーを作るために必要な食材を受け取ることができるというユニークなもの。さらに、すべての地点を通過した12才以上の人には特製のエコバッグがプレゼントされ

るとあって、たくさん親子連れがエントリーカードを手に参加していました。このエコバッグを持参して500円以上の買い物をすると1ポイント、20ポイントたまると1000円相当の買い物ができるというエコバッグ制度も、この日から始まっ

います。

網島商店街連合会では、昨年12月から横浜市アクションプログラムモデル事業としてエコ商店街化に取り組んでいます。一般ごみの戸別回収や週1回の段ボール分別回収・資源化などの活動を通して、ごみを六割減量するという画期的な実績をあげています。エコ宣言を終えて、これからの活動がますます楽しみです。



▲網島商店街のエコバッグ



よこはま白書 2001.7

『よこはま白書』は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

●自然とあそぼう ゲームを通して自然に親しもう 6月28日(土)13時・14時の2回 横浜自然観察の森観察センター 当日直接会場へ TEL045・894・7474

●生ごみリサイクル全国交流大会 7月9日(月)東京都庁第一庁舎大会議場 参加費無料 資料集1000円(希望の場合あらかじめ申し込み) 7月10日(火)見学会 ホテルニューオータニ・町田リサイクルセンター・植木剪定枝のリサイクル・栽培農家・生ごみ処理機設置集合住宅 問い合わせ・申し込みトワーク実行委員会事務局 TEL&FAX03・3239・3538 (電話は水曜日のみ)

●おもちゃのドクター養成講座 7月5日(土)19日の木曜日(全3回)9時30分〜12時30分 中区仲尾台中学校コミュニティハウス 申し込み/仲尾台中学校コミュニティハウスTEL&FAX045・623・6787 20人 2200円 電話かFAX、もしくは直接申し込み先着順

●おもちゃの病院 人を傷つける恐れのあるもの・家庭用100V電源を使うものを除く部品代は実費 7月14日(土)港北区菊名地区センター10時〜15時 事前にセ

ンターに電話申し込み 045・421・1214 7月15日(日)11時〜14時 港北区新田地区センター 当日直接 TEL045・591・0777 FAX045・488・3463

●リフォーム教室 着物から洋服へ 7月24日(火)10時〜15時 本郷小学校コミュニティハウス 当日直接会場へ 30人まで 昼食・材料持参 問い合わせ/栄区消費生活推進員の会事務局(地域活動係内) TEL045・894・8392 FAX045・895・6990

●自然観察会(夜の森探検) 7月28日(土)18時〜20時45分 雨天中止 先着15人 小学生以上200円 申し込みは6月28日から TEL045・826・0700 FAX045・826・0749

●夏休み環境講座 神奈川をとりまく海・川の生き物たち―横浜の魚たちのこと、それを取りまく環境について学習しよう 7月29日(日)13時30分〜15時30分 エコライフかながわ多目的室 講師/工藤孝浩さん 水産総合研究所主任研究員(首都圏の海にもぐり魚や海の研究と山下公園の海底清掃などを続けている市民活動家) 対象/市内在住の幼稚園生・小学生の親子30組 参加費/無料 申し込み/往復はがきまたはファックスで住所・氏名・学年・電話(ファ

ックス)番号を記入して7月10日までに申し込み 先着順 問い合わせ/エコライフかながわ横浜市神奈川区平川町316 TEL045・413・3196 FAX045・488・3463

●泉区センターリサイクル 7月1日(日)9時〜12時 雨天実施 環境事業局泉事務所 回収品目/新聞・雑誌・段ボール・紙パック・繊維類・リタナブルびん・アルミ缶・スチール缶・小物金属・ペットボトル・食品用白色トレイ・発泡スチロール

●センターリサイクルinせや 7月7日(土)9時〜12時 雨天実施 ニッ橋公園 回収品目/新聞・雑誌・段ボール・紙パック・繊維類・アルミ缶・スチール缶・小物金属・ペットボトル

●かながわセンターリサイクル 7月8日(日)10時〜14時 雨天実施 反町公園神奈川区役所 問い合わせ/エコライフかながわ045・413・3196

●旭区センターリサイクル 7月15日(日)9時〜12時 雨天実施 環境事業局旭工場内(相鉄線西谷徒歩10分) 回収品目/新聞・雑誌・段ボール・紙パック・繊維類・リタナブルびん・スチール缶

●ファイバーリサイクル 雨の日も回収します。ビニール袋に入れてお持ちください。 ●泉ファイバーリサイクル 6月30日 10時〜12時 中川地区センター・緑園2丁目自治会館・新橋連合自治会館・グリーンハ

●ファイバーリサイクル 雨の日も回収します。ビニール袋に入れてお持ちください。 ●泉ファイバーリサイクル 6月30日 10時〜12時 中川地区センター・緑園2丁目自治会館・新橋連合自治会館・グリーンハ

●ファイバーリサイクル ネットワーク 回収拠点が店舗の場合、数日前から回収していることや事情により拠点回収を行わない場所もあるため1週間前に確認してください。また雨の日も回収を行うので、ビニールに入れてお持ち下さい。 問い合わせ/045・710・6507

●栄区7月5日(木) コープかながわ小菅ヶ谷店/上郷店・庄戸自治会館・東上郷みどりヶ丘自治会館・ナチュラルコープヨコハマ・ネオポリス自治会館他

●西区 7月10日(火) コープかながわ中西行政事務所・西平沼宮元町内会館他

●南区 7月10日(火) コープかながわ大岡店/中里店・湘南保土ヶ谷マンション6号棟集会所・生活館みなみ・永田小学校

●金沢区 7月12日(木) いこいの街A棟駐輪場・金沢かもめ・コープかながわ六浦店/並木店他

●戸塚区 7月13日(金) 神奈川ネットワーク運動とつか・南戸塚小学校・コープかながわ戸塚店/舞岡店・ひまわり幼稚園・ハーモス深谷・コミュニティクラブ生協東戸塚デポ他

●港北区 7月17日(火) コープかながわ高田店/太尾店/下田店/綱島店・堀崎公園前・障害者地域活動ホームしもだ・大倉山自治会集会所他

●中区 7月17日(火) 東京電力お客様相談室・マリンハイツ・本牧ポートハイツ自治会館・安田火災海上保険・コープかながわ本牧店・トヨタカレリア・本牧小学校他

●青葉区 7月24日(火) コミュニティクラブ生協つじが丘デポ/みたけ台デポ/すすき野デポ/長谷第一公園・コープたまプラーザ店他

*リタナブルびんとは、酒びん・ビールびん・ウイスキーびんなどの再使用できるびん

リサイクル 掲示板

今から30年ほど前のこと、市民の委託を受けて不用品を販売する『横浜消費者の会』という団体がありました。その活動は、売り上げの八割を本人へ、残りは経費を差し引いて県の福祉基金に寄付するというものでしたが、当時から関わってきて、現在ファイバーリサイクルネットワーク(以下FRN)代表を務める服部孝子さんによると、『衣類が売れ残って依頼者が『寄付します』と置いていくため、みんなで手分けして生ごみに混ぜるというように苦労して処理していました。ある時、中野さんと出会ってその話をしたら、『回収をしてみないか』と提案されたけれど、そう簡単に腰は上がりません。ところが県のイベントで中野さんと一緒に回収活動をししたら、広報していないのに古着が2トンくらい集まっちゃった(笑)。それで、『できるかもしれない』と思って、試験的に中区と茅ヶ崎市で回収を始めたの」

という思いを持つ人たちの集まりでもありました。FRNによる回収の現状を、事務局の竹内幸代さんにうかがいました。

「FRNの回収は、町内会館や生協、お店、それに自分たちの家の軒先でやっています。午前中ご主人が出勤した後の駐車スペースに古着を集め、午後には回収を担当する綿糸倶楽部のトラックが回収します。『回収があるから行く』という人もいて売り上げにつながるの、お店も協力してくれれます。4月現在、神奈川県内の拠点は313箇所となっていてます。私たちは古着や古布を税金で処理するのではなく、多少お金がかかっても資源にする方向で運動していきたくて、業者さんの実情を知って市民に伝え、その間をネットワークしていくことが本場に大事だと思っています」

回収した古着・古布をリサイクルする方法は、反毛・ウエス・輸出の3つ。主にウールを利用する反毛は頭打ち、ウエスも需要が減り、夏物の輸出で何とか支えているというような出口が狭まっている状態なのに、ここ2〜3年、行政回収の量は増加し、衣料品の価格が下がって気軽に回収に出す傾向が強まったため、入口となる古着の回収量が急増しています。

「以前は古着・古布なら何でも集めて業者に渡して終わりでしたが、最近は回収できないものとその理由、何に使われるかをきちんと伝えたいという意識があります」

いくつかの要因が重なって厳しい状況に陥った古着・古布リサイクルの現状を、多くの人たちが納得いくように伝えるのはとても難しいことです。集めた物がほとんどごみになっているというように誤ったマスコミ報道だけで判断して、『集めたものの処分困っているなら回収をやめた方がいい』と言う人も現れたようですが…。

「回収をやめるということは、古着・古布を100%ごみにしてしまうこと。私たちは回収を続けて、資源として生まれかわらせることができるものを生かしたいのです」

こうした状況の兆しを感じ、入口だけでなく出口を見つめながら運動をする必要があると考え始めた3年前、中野さんの会社の倉庫で山積みになった和服を見て、着物や帯を販売し、再利用の提案をする『リサイクル着物フェア』を始めました。

「いつも大盛況で、11月22日には6回目を行う予定です。着物フェアのために、新聞などを通じて着ていない着物の寄付をお願いします」



前列右 代表の服部さん・左 事務局の竹内さん 後列左から山田さん 鈴木さん 佐野さん 堀川さん 馬場さん 右の棚は着物でいっぱい

■ファイバーリサイクルネットワーク■古着を通してさまざまな市民団体と業者が協力し合うネットワーク。活動の核となるのはコープかながわ・生活クラブ生協・消費者団体などが構成している地区連絡会で、回収拠点を提供するなど回収の主体ともなっている。現在、FRNでは次のイベントを企画中。

- ・アロハ&ゆかたフェア 7月14日(土) 10〜16時 参加希望の方はご連絡を ゆかた・着物から作ったアロハ・小物の展示
- ・藍染め教室 7月14日(土) 10〜12時30分 藍の生葉で絹スカーフを染める 定員に達したので申し込み締切 見学可能
- ・夏休み親子さき布ぞうり教室 8月24日(金) 10〜12時・14〜16時の2回 参加費500円 各回5組 申し込み制

以前は『集めてあげてくれるんだ』っていう気持ちだったけれど、着物を通して回収から出口まで全部関わるようになって、これまで見えなかった、受け取る側の人たちの苦労がわかってきました。それでまた新しい方向が見えてきて、形を変え小物として生かすという新しいアイディアに挑戦できるようになってきたところでです」

ファイバーリサイクルネットワークは、布が好きな人たちの集まり。古着・古布のリサイクルは、難しい状況にあるけれど、大好きな布を資源として100パーセント生かしていきたい。

*1 中野さんの会社 ナカノ株式会社は回収で集まった古着・古布の受け皿の一つ。中野さんはリサイクルデザインの母体、横浜市資源リサイクル事業協同組合の理事長も努める。*2 神奈川県下で古着・古布の再生を専門に行う若い業者が組織する団体。現在13社が参加。*3 28の地区連絡会があり、横浜には16の地区連絡会がある。ホームページ <http://jimfiber.hoops.livedoor.com/>

その9 なんでもかんでもプラスチック



鶴田由紀
ただいま子育て奮闘中!

割れない茶碗 割れないコップ

今の時代は、プラスチック製品が本場にたくさんあります。その6でおもちゃを取り上げましたが、もっと怖いのは乳幼児の哺乳びんや食器がプラスチックでできていることです。

子どもがおっぱいや粉ミルク以外のものを口にするようになると、当然、食器やコップ、またはストローや乳首のくっついた幼児用カップ（なんていう名前なんだろう？）を使います。うちは特に子ども用に買い揃えることはせずに（ケチなもので）、食器はおとなと同じもの、コップはプリンが入っていたガラスの小さいものを使っていますが、普通の方はどーゆーわけかプラスチック製の子ども専用の

食器をお買いになるようです。

食器の原料はポリプロピレン、ポリカーボネートなど、いずれもプラスチック。特にポリカーボネートは環境ホルモン（内分泌攪乱物質）の疑いがある物質として、横浜市の学校給食ではスプーン用容器を磁器に取り替えています。

ストローというのもプラスチックでしょう。なにもわざわざプラスチックを通してお茶飲まなくてもいいじゃないかなあと思ってしまうのですが、昨今は哺乳びんを卒業すれば、まずストローと相場は決まっているようです。

うちは十一ヶ月からコップで飲ませ、一歳半前には自分でなんとか飲めるようになり

ました。別に特訓しなくても、そのうち自然にできるようになるですよええ。ガラスや陶磁器は落とすと割れるから危険という理由なのでしようが、うちの子に関する限り今のところ割ったこともないし（中味をこぼすのはしょっちゅうですが）、熱いものを入れることもある容器にプラスチックを使うのは、どんなものでしょうか。

赤ちゃん用の ペットボトル飲料!!

ドラッグストアなどで赤ちゃん用品売場のぞいてみて下さい。赤ちゃん用の水や麦茶が入ったペットボトル（500ml）を目にするのができます。これには本当に驚愕の一言でした。「麦茶なんて自分で作れよう!」と思わず叫んでしまいました。値段も定価で220円、安売りで98円くらいです。現代日本人は麦茶を作らなくなったから、そのくらいの出費は何とないんでしょうか。しかしペットボトルの中に可塑剤として含まれているフタルートは、ハッキリ言って環境ホルモンです。乳幼児には、できれば避けた方がよいと思い

ます。

子供というのは発達途上ですから、大人の何十倍（何百倍?）も有害物質の影響を受けます。アメリカのNPOの報告によれば、プエルトリコではプラスチック容器入りの加工食品をよく食べるので、子どもの性的発達に障害が生じている可能性があるという指摘されているそうです。プラスチックは現代の生活に溢れていますからゼロにはできませんが、極力使わないように努力した方が賢明ではないでしょうか。

ところで最近、磁器の食器が思っていたほど安全でないことがわかって少々ガックリしています。磁器製食器の絵柄に使われている上絵具に、鉛やカドミウムが含まれていることがあるんだそうです。それが食品にどの程度溶け出すのか、詳しいことは知りませんが、なんだかも、「どーすりゃえーんじゃ!」という感じですよ。何もかもが危険かもしれないなんて、なんという世の中なのでしょう!!

▼つるたゆみ▲ 訳書（共訳）に『生物多様性の危機』（ヴァンダナ・シヴァ著 三一書房）『ただいま』は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。*2 数年前、仕事仲間のアメリカ人にこの話を聞いて以来、さわるデコボコしている上絵のついた食器には熱い料理や酢のものは盛らないようにしています。染め付けのお皿は問題ないそうです。（編集室）

トイレトペーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

●びっくりその3

再生紙なのにソフト。
バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい!

風邪をひいて鼻水がとまらないとき、ティッシュの箱を抱えこんでいたあなた、一度このトイレトペーパーを試してみてください。愛用者の某リサイクルデザイン関係者（若い女性です）いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトレベだと大丈夫なの」（実話です）。

リサイクルボーイ
トイレトペーパー

シングル芯なし130メートル
1パック（6ロール）あたりの
価格420円



ご注文は 横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045・316・4050 FAX 045・316・6050

●ドラム缶出荷頭打ち 堅調だったドラム缶出荷が頭打ちの様相を帯びてきた。ドラム缶工業会によると、2月のドラム缶生産・出荷実績は、生産が前月比0・2%減、前年同月比0・2%、4・2%減の2万7600トン、出荷がそれぞれ横ばい、4・5%減の2万7600トンとなり生産・出荷ともに24か月ぶりに前年比を割った。用途の7割を占める化学向けが亜アジアの景気減速による輸出減退の影響で、前年同月比2・9%減と2年ぶりに前年比を割り込んだのが要因。全缶種の出荷別出荷(重量ベース)を前年比較で見ると、化学向け(構成比73%)が2・9%減、塗料(5%)6・6%減、食料品(1%)25・2%減、その他が8・8%減と軒並み減少した。日刊産業新聞2001・4・3

●2000年会社別段ボール古紙消費量 古紙再生促進センターは2000年の段ボール古紙の会社別消費実績をまとめた。昨年の段ボール古紙の消費は、810万2451トンで前年比5・7%増加となった。会社別では、第1位はレンゴーの163万7185トンで同比8・8%増加、全体に占める構成比は20・2%で同比は0・6ポイント上昇している。第2位は王子製紙の96万0170トンで前年比5・3%増加、構成比は11・9%で同比横ばい、第3位は高崎三興の70万3007トンで同比1・6%増加、構成比は8・7%で同比0・3ポイント低下となった。日刊資源新報2001・4・5

●アメリカのアルミ缶回収率 米国のアルミ協会・缶製造協会・スクラップリサイクル産業協会は2000年のアルミ缶リサイクル率が62・1%と前年比0・4ポイント低下したと発表した。昨年のアルミ缶の製造数は1008億個で、うち626億個がリサイクルされた。リサイクル缶は重量にして19億ポンドになる。1ポンド当たりの缶製造個数は33・12個と、前年比0・02個増加した。業界では軽量化に取り組んでおり、この数字は過去ほぼ一環して伸び続けていて、94年に30・13個と30を越えた。日刊産業新聞2001・4・23

●新聞協会資材委員会の平成13年度新聞用紙の内需見通しは、上期(4～9月)前年比2・1%増、下期(10～来年3月)1・4%増、年度計では1・7%増の376万2000トンと試算された。90%以上を占める超軽量紙(43グラム紙)換算による。日刊紙業通信2001・4・23

●ペットボトル65%増 環境省はこのほど平成昨年4月から12月までに容器包装リサイクル法に基づく、全国市町村の分別収集量と再商品化量をまとめた。容器包装リサイクル法は昨年4月より新たにプラスチック製容器、紙製容器包装等を対象品目に加えて完全施行されている。今回の集計結果は、全体としては前回発表の12年4～9月実績とほぼ同様の傾向を示している。ガラスびんなど平成9年度からの対象品目については、11年度と比較して回収を行う市町村が大幅に増えている。特にペットボトルについては、前年の同じ時期に比べて市町村数ではほぼ倍増、分別収集量では約65%増加して9万7000トンに達している。さらに紙パックについても顕著な伸びを見せている。分別

収集実施市町村の品目別の状況を見ると、ガラスびんについては無色、茶色、その他色とともに前年3月末時点と比較して約31・32%増加しており、紙パックは同35・4%、もっとも増加が顕著なペットボトルにいたっては89・1%と大幅な増加となっている。また、分別収集量については、もっとも大きく伸びたペットボトルは前年の同じ時期と比べて65・3%増加、ガラスびんも色別にそれぞれ9・12%、紙パックは35・3%の増加となっている。全品目合計では、43・2%の増加となっている。日刊資源新報2001・4・23

●段ボール原紙シート需要後退感 段ボール原紙・段ボールは急速にデフレスパイラルの高波に飲み込まれつつあるようだ。今年に入ってから需要の後退傾向は需要期とされる3～4月になっても改善されず、原紙の高水準在庫や製品の受注競争の激化と、最終需要の値下げ要求が目立ち、つれて原紙およびシート価格は下落した。日刊紙業通信2001・4・24

使ってびっくり！リサイクルボーイ・トイレットペーパー

●びっくりその1

トイレットペーパーに芯がない！
でもふつうのホルダーで使えるんだよ。

リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。ふつうの芯なしタイプは専用ホルダーが必要だけど、リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ふつうのトイレットペーパーと同じようにセットできて、最後まで使えます。

●びっくりその2

ずっしり重い固太り！それもそのはず、
ふつうのトイレットペーパーの2倍以上の長さだもの。

手にするとずっしり重い。それは巻きがしっかりしていて長～いから。「使っても使ってもなくならないんですね」との声も寄せられるほど(もちろんいつかなくなるけど)。一般的な再生紙のトイレットペーパー(シングル)は60メートル。これに対してリサイクルボーイ・トイレットペーパーは130メートル。なかなか使いいきらないのも当然です。

リサイクルの風景 8

衣替えの季節



衣替えのシーズンがやってきて、心配していたように古着の回収量が急増しています。ファイバーリサイクルをしているナカノ（株）秦野工場の倉庫も冬物衣料の山。1日の搬入量は約20トン、どうがんばっても1日に処理できる量は10トン程度なので、山は大きくなるばかりです。

かつては冬物衣料も様々な方法ですべてリサイクルされていたのですが、今はリサイクルしても売れなくなってしまうため、ごみという形で廃棄せざるを得ないそうです。写真の四角い包み（ボール）は引き取り手が見つからなかったで廃棄しなくてはならないもの。包み1つが150×180キロあるというのですから、その量が膨大なものであることがわかります。「本来は生かせるものなのに、需要がないからと生かすことができないのは、本当につらい」と言うのは、工場長の五十嵐さんです。古着がリサイクルされてまわっていくには、私たちが再生品をいかに使っていくかに委ねられていると強く感じました。

（Bon）



この数字なあんだ？ 8トン



●リサイクルデザインは次の場所にも（P14にも掲載）▼マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）▼グリーンバザール（南区六ツ川）▼ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）大船店▼地酒 篠原屋（港北区篠原町）・エコロジィショップ エッセンス（中区麦田町）

ブナの原生林として知られる白神山地。その山の合間を流れる奥入瀬川の豊かな流れは、水源のブナ原生林にたっぷり蓄えられた、雨水の力によるものです。水量の豊富さは、「ブナ山に水筒いらす」と言われてきたことでもわかりますが、1本のブナの木が8トンもの水を蓄えているのだとか。ブナ林がそのまま水源となっていると言ってもいいかもしれません。

これほどの水を蓄えられるのは、ブナが原生林に張りめぐらせた根と、広葉樹であるブナの葉や枝が積もってできた分厚い腐葉土があるから。ブナ林に蓄えられた水は川に注ぎ、鮭や鱒が奥入瀬川で産卵・孵化するのを助けています。また、春になると腐葉土にはたくさん山の山菜が芽吹き、秋には共生するヤマブドウやアケビが実をつけます。動物たちにとって棲み心地のいい場所であることは、ツキノワグマやニホンカモシカ、イヌワシなど、多くの動物が生息していることからわかります。ヨーロッパでブナを「森の母」と呼んでいるというのにも納得できますね。

とことん利用法vol.4

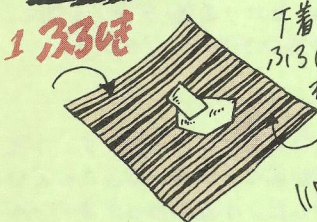
番外編
観光旅行



『歴史をめぐると「風土」とか「文化」というものを感じます。一つの土地に何十何万の人が、何百年もの時間をわたって受け継ぎ伝えてきたものを感じます。ただ伝えるだけでなく、時と共に必要なものを加えときずませていったもの。それこそ「文化」ではないでしょうか。『歴史』とはそんな文化の中に育まれた、人々の生きた証。私たちは長い歴史の一部にすぎないのだから、とこんな方々をして思います。』



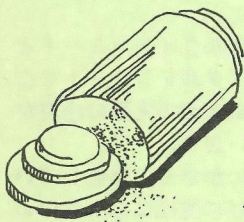
1. 3つは
もちものに「あそびみだす」。



下着などのこまごました布類をふるしきでつつんで、かきまんに入ると、コンパクトになります。



2. フォルマーズ



何気なくすていたけれど、実はとても便利。一泊ならシャンプーを。長期間なら洗剤を入れても。空のまま、持ち歩いてお風呂の海の家や山でひろった種やどんぐりを入れたりもします。お風呂では何気ないひろいもの、さえずきなおみやけになるんです。

3. もちろ まいりおっく

必ず「買い物をするとわかる」こんな時やせむ。おみやけなども1つ1つ紙袋に入れる必要はありません。お渡しする時にふるしきなど、包み、相手に前でほくのも、半ばでずねえ。



4. まい・かつら

5. 1ざんたす

ワール・ハンカチ、中島子のかわりになる便利な布です。

6. おりたる名刺 など「自己PRグッズ」

おみやけで出会う人との思い出に。相手にもおみやけをもらえる、手紙のやりとりなんかもおもわぬきっかけで「きたり」しますよ。おみやけは必需品。



おすすめは近所の喫茶店や定食屋。

チェックリスト — 旅行にまつわるエッセー

- おみやけ「屋」さんでなく、商店街やその外でみた
- 金銭を上手に使うと、地元の人との会話をしてみた
- 田代 裕子や本屋で、土曜の情報をみつけた

- ゆっくり歩いて、まちなみやふんいきを楽しんだ
- 地元産の野菜や魚などを食べてみた
- もちものも自分なりに考えて入れてみた

リサイクル標準価格表

品名	買入価格*	業者の売値 日経5/31
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	3円
雑誌	** -3円	0~0.5円
段ボール	** -3円	2円
衣類くず	** -3円	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

*集団回収には「買入価格」を適用 **有料

有料の場合あり *スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

●今月のひとこと 80号「使う人が参加する公園づくり」の中で、花の時期を間違えました。エゴ・トチは5月中旬頃から、ホウは5月下旬頃のようにです。三ツ池公園にあるトチは在来種ではなく、ベニバナトチというマロニエとアカバナアメリカカトチノキの雑種だとか。これからの季節はプールのそばで、シャラの花が見られますよ。仏典にいう沙羅双樹はフタバガキ科、日本のシャラはツバキ科、違う木でした。読者からの情報です。

(ササキミチコ)

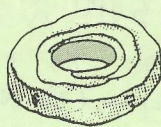
●リサイクルに関するご質問にお答えします。住所・氏名・FAX番号を書き添えて、FAX・郵便・メール（アドレスは1ページ）でどうぞ。

FAX 045・316・5122
横浜市西区南幸2-16-22 金属ビル3F

リサイクルデザイン編集室から

旬をたのしむ
エコッキング 12セロリの葉入り
麩のスクランブルエッグ

田所仁美



●材料（4人分）

車麩 4個（ふつうの麩の場合は5~6個）→水で戻しておく
牛乳 1.5カップ 卵 3個 とろけるチーズ 1カップ
塩・こしょう 少々 オリーブ油 適宜
セロリの葉 1本分→みじん切り にんじん葉やパセリの軸でも

●作り方

- ① 牛乳・卵をよく混ぜる
- ② その中に麩を入れ、塩・こしょうを加える。
- ③ オリーブ油を熱し2を流し入れ、セロリの葉・チーズを加え、フライパンをゆすりながらスクランブルエッグを作る。

●もっとおいしく！

麩は日本の伝統食品。精進料理には欠かせない素材です。小麦粉でできていますが、たんぱく質が多く、肉食が禁止されていた僧たちにとって大切な栄養源でした。小麦粉からグルテンをとり、餅米などを加えて練って蒸したものが生麩。グルテンに強力粉を加えて練り、直火や型にはめて焼いたりしたものが焼き麩とよばれています。混ぜ物が多いものほど、火にかけたとき形がなくなっていく傾向があるようです。

最近、欧米のベジタリアンは、麩によく似たグルテンミートと呼ばれる製品がよく食べています。でも、グルテンミートを作るためにはたくさんの小麦粉が必要。そのために大量の小麦がムダになっているとすれば、考えてしまいます。

テレビで見た麩づくり名人は、大変手間のかかる作業をしていて感心しました。麩は見た目が地味なだけに主役になれないのですが、すばらしい日本の伝統食材であることを見直したいですね。

月刊 リサイクルデザイン
2001年7月号
No.82

発行日 2001年6月25日
発行人 中野聰恭
編集人 宗村隆寛

発行所
横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0005
横浜市西区南幸2丁目16番22号
金属ビル3階
TEL & FAX 045・316・5122

広報委員会
山岡秀明・武松昭男
杉山宜利・芦澤博志・松澤嘉雄
竹澤留美・戸川孝則

イラスト いとうみき
編集・制作 よしのたかこ
〈リサイクルデザイン編集室〉

印刷 オリジナルプランニング



こむすび
小結くん

小結くん販売場所／横浜市内次の区役所売店 金沢区・緑区・西区・中区・南区・都筑区 グリーンバザール（南区）・ブックショップふれあい戸塚店（戸塚区 ダイエー横）・大船店（鎌倉市小袋谷）・コミュニティストアすずきや（戸塚区）・エコロジーショップエッセンス（中区）・御菓子処おきな堂（神奈川区）・村松商店（鶴見区 生麦4-10-17）

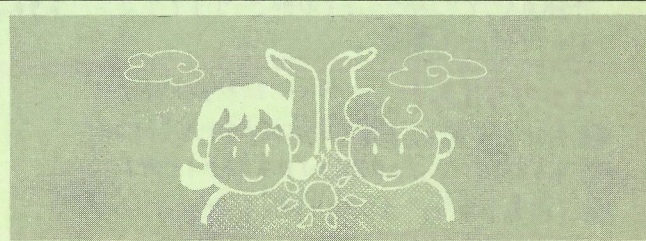
1巻 長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻 250円	1~6巻 400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱 11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み
お問い合わせ 横浜市資源リサイクル事業協同組合
☎045・316・4050 FAX045・316・6050



PRINTED WITH
SOY INK

Trademark of American Soybean Association



月刊 リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙を使用しています
お問い合わせは横浜市資源リサイクル事業協同組合へ

アンケート

Q1 身近に環境への意欲的・ユニークな取り組みをしている学校やグループがあれば、所在地などの情報も含めて具体的に教えてください。

Q3 これまでリサイクルデザイン紙上でとりあげてきた環境教育についての記事の内容について、ご意見をお聞かせください。

Q2 学校や家庭で環境教育に取り組む際に感じている問題点や疑問点を教えてください。

Q4 今回のリサイクルデザインで、おもしろかった記事・役に立った記事に、Vをしてください。(いくつでも)

- ☐ 地域に広がる環境教育を目指して
- ☐ どうする? どうなる? 環境教育
- ☐ よこはま白書
- ☐ リサイクル掲示板
- ☐ どうなってるの? リサイクル
- ☐ ただいま子育て奮闘中
- ☐ リサイクル最新情報
- ☐ リサイクルの風景
- ☐ この数字ななんだ?
- ☐ とことん利用法
- ☐ 旬をたのしむエコッキング
- ☐ 標準価格表

Q5 リサイクルデザインに具体的なご意見・ご感想をお願いいたします。
また、リサイクル・ゴミ・環境について、日頃疑問を感じていること・リサイクルのちょっとしたアイデアや情報・上の欄に書き切れなかったことなど、何でもご自由にお書きください。
ご意見を誌上に掲載させていただく場合もあります。匿名希望の方はペンネームをお書き添えください。

ペンネーム

●FAXの方は、お手数ですがお名前とご住所(〇〇市〇〇区といった感じで)をもう一度お書きください

お名前		ご住所		市	区
-----	--	-----	--	---	---

お手数ですが
80円切手
をお貼り下さい

220 - 0005

横浜市西区南幸2-16-22
金属ビル3F

リサイクルデザイン編集室 行

☆セロテープでとめてください

①アンケートを
内側に
ミツ折し



この用紙はたたんでセロテープでとめればそのまま送ることができます
FAXしていただいてもOKです お手数ですが両面を送信してください

FAX 045・316・5122

お名前

ご住所 〒

②☆☆☆の各しるしどうしを
合わせてテープではる

★セロテープでとめてください

さしつかえなければ、裏面を含めたアンケートにお答えください。
返送していただいた方の中から抽選でプレゼントをお送りします。
ご希望のプレゼントに○をしてください。締め切りは7月末日。

- a. リサイクルデザイン オリジナルテレホンカード
b. リサイクルデザイン オリジナルふろしき
c. 再生紙紙ひも「小結くん」

●リサイクルデザインをいつからお読みいただいていますか？

年 月頃

●さしつかえなければメールアドレスをお教えてください。
お知らせをメール（不定期）を送らせていただきます。

●今月号はどこで手に入れましたか？

- a. リサイクルデザインclub会員 b. 区役所(区)
c. 学校 d. スーパー・店舗（お店の名前)
d. 地区センター（センター名)
e. その他()

男・女 職業

電話番号 - -

FAX番号 - -

年令 ~9才・10~19才・20~29才・30~39才
40~49才・50~59才・60~69才・70才~

☆セロテープでとめてください